

除染装置 廃棄物の保管管理について

平成26年 3月 7日

東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

除染装置の廃棄物保管管理

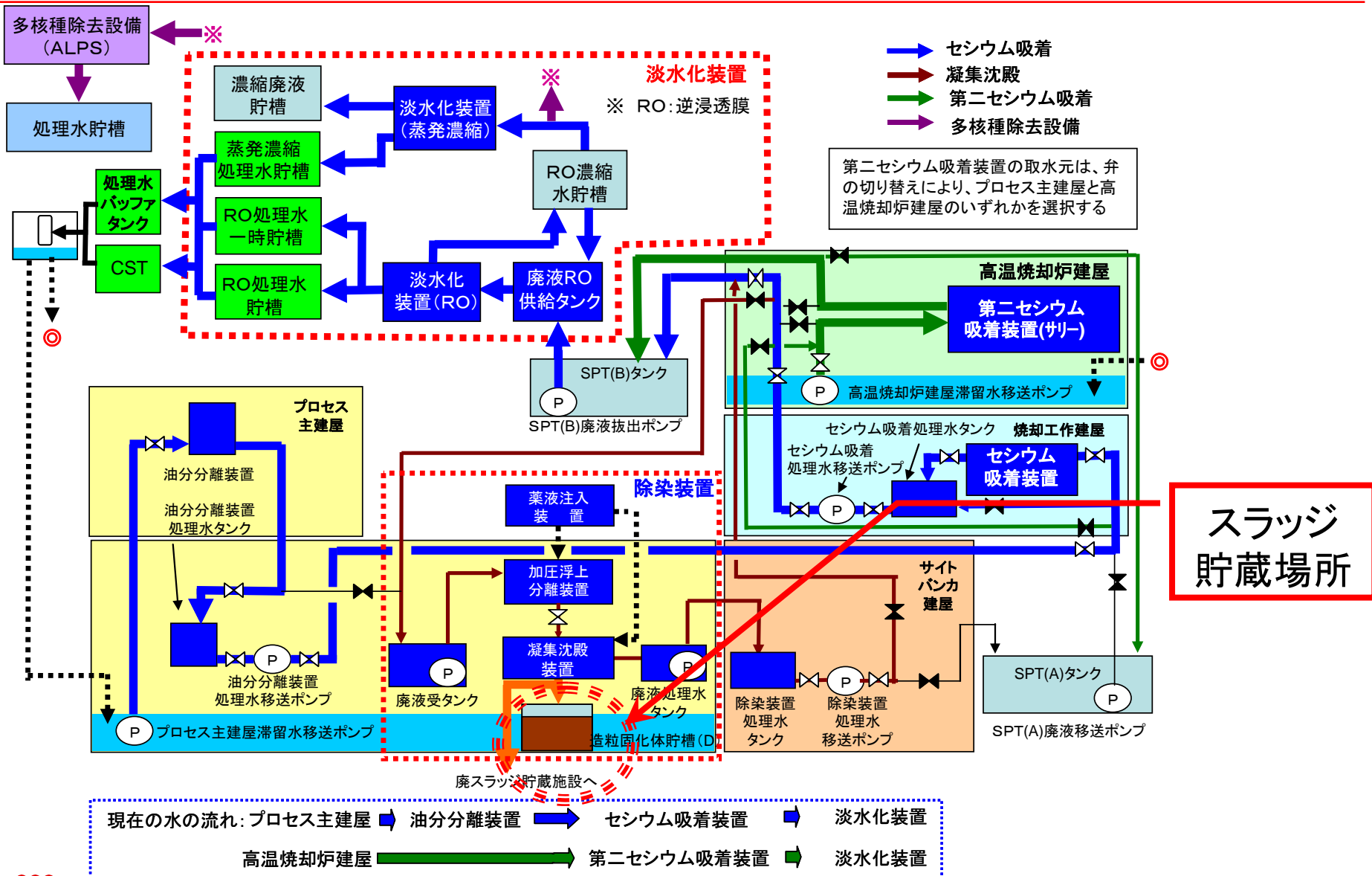
1. 貯蔵概要

- ・汚染水処理時に除染装置はセシウムを除去するためフェロシアン化遷移金属を使用している。
- ・セシウム除去により発生したスラッジは、プロセス主建屋地下の造粒固化体貯槽(D)内で管理している。
- ・除染装置、スラッジ貯蔵設備の設置・運営管理においては、長年スラッジ管理経験を有するAREVA社の経験・知見・ノウハウをもとに実施している。

2. 当社の認識

- (1)AREVA社のスラッジ経験では、シアンガス(HCN)が発生し問題を生じたことはないと聞いている。
- (2)シアンガス(HCN)は文献調査等から高アルカリ、高温などの際に発生することが確認されているが、スラッジ生成時(貯蔵時)にpHを中性とするとともに、温度は35℃未満で管理していること、また、排気装置とバブリング装置により、貯槽内での気体の滞留を避けていることから、適切な管理ができていると考えている。

水処理設備全体系統図



- セシウム吸着
- 凝集沈殿
- 第二セシウム吸着
- 多核種除去設備

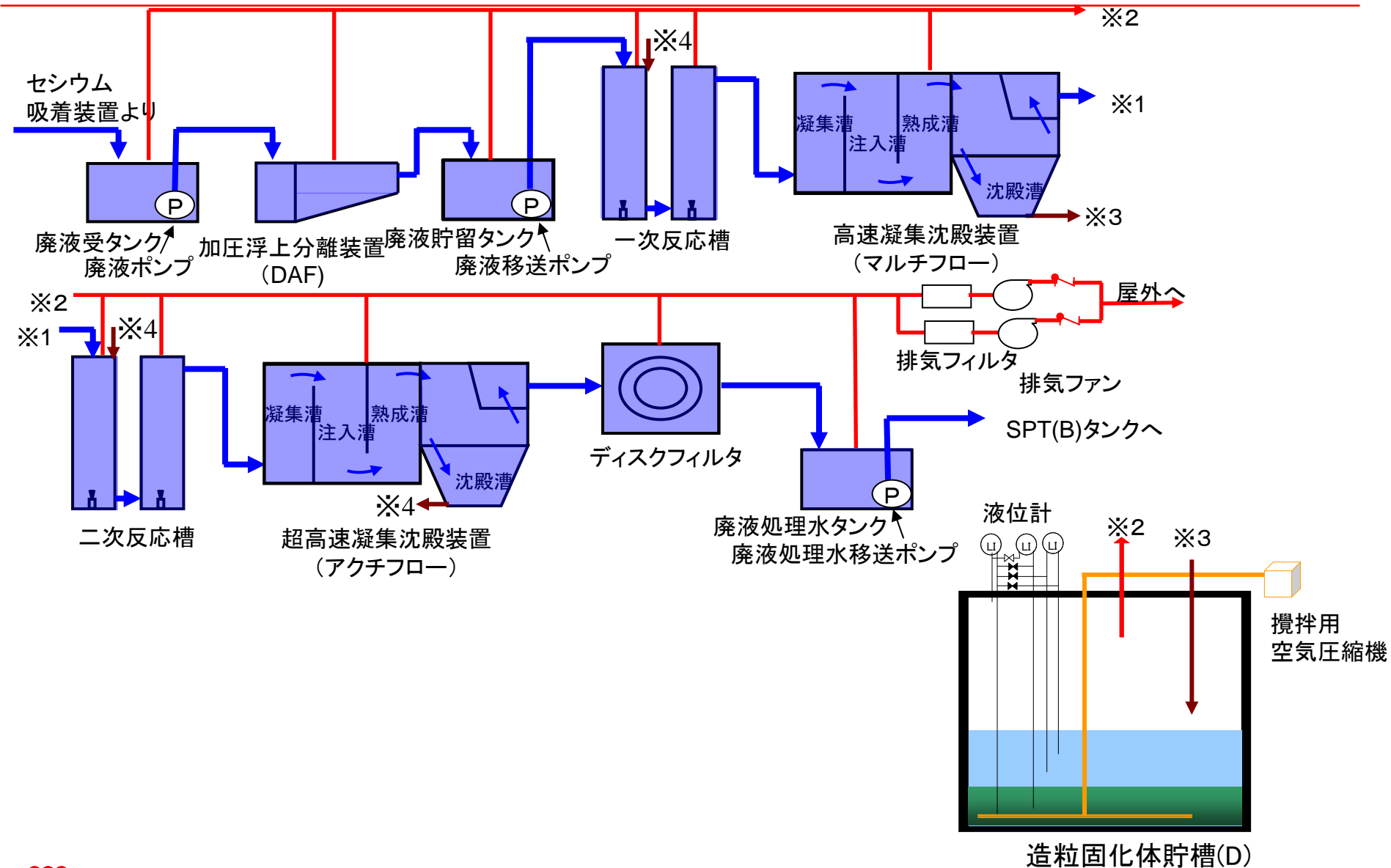
第二セシウム吸着装置の取水元は、弁の切り替えにより、プロセス主建屋と高温焼却炉建屋のいずれかを選択する

淡水化装置
 ※ RO: 逆浸透膜

除染装置

スラッジ貯蔵場所

除染装置及び貯槽概略系統図



【参考】造粒固化体貯槽 温度状況

造粒固化体温度

